



旧武儀町の花（ササユリ）

第3回元号しあわせの架け橋短歌大会 2024
受賞作品集

とき 令和6年11月10日

ところ 道の駅平成・しあわせの気の森



挨拶

元号しあわせの架け橋短歌大会2024実行委員長

三輪 繁一

今回の第三回元号しあわせの架け橋短歌大会は五月一日に短歌の募集を行いました。一般の部、小・中学校の部ともに無題で八月一日までの期間で募集しました。

北は北海道、南は九州熊本県など全国から短歌の応募があり、一般の部一六九作品、小中学校の部八五五作品の応募がありました。今年は高校生の応募が多く、どれも心のこもった素晴らしい作品でした。選者の先生の厳正なる審査により、今回の入選作品を決定させていただきました。入賞された皆さま、おめでとございます。

さて、去年は、道の駅「平成」開設三十周年を迎え、元号しあわせの架け橋や令和の道標、中西進先生揮毫歌碑へ訪れる方々も増えつつあり、この地が短歌の発信の地として行くことを願っています。

最後になりましたが、今回ご支援をいただきました岐阜県歌人クラブの選者の皆様、関市、関市教育委員会をはじめ、多くの皆様方に心から御礼申し上げます。

一般の部

最優秀賞

虹立たせポンポンダリヤに散水す行方不明者無事保護を聞き

岐阜県関市 西部 千鶴

行方不明者が無事保護された。おそらく市の同報無線の報せを聞いたのであろう。知らない人のことであるが、ほっとした思いを抱きながら花に散水している。へ虹立たせへに心情がよく出ていて、心温まる作品。

市長賞

一匹はいるんだろうなこの中に詩の朗読をしている蟬も

愛知県名古屋市

遠藤 雄介

夏、盛りに鳴く蟬の声を聞きながら、喧しいなあ、と思うのですが、もしかして、この中に一匹くらいは詩を読んでいる蟬もいるだろうな、と想像しています。蟬から詩へ、喧騒の中からの発想の転換は見事です。

教育長賞

立ちどまり母の歩みにあわせれば野の花の名をひとつ覚える

静岡県静岡市 杉山 博代

大変だろう足の不自由な母の世話。が、それで野の花の名をひとつ知ったことを喜ぶ。愛らしい花だったに違いない。優しい作者の心穏やかな詩情溢れる歌。気張らぬ素直な表現、特に「野の花」という具体がいい。

会長賞

鳩が飛ぶこの青空の行き先に戦下の国が広がる現実

兵庫県川西市 木内 美由紀

鳩が飛んでいるどこまでも青い空。平和であることをしみじみと感じるが、その空の遠い先には戦下の国が広がっている現実がある。そう思うだけで心が傷む。いつ終わるかわからない戦闘、そこに寄せる作者の思いに引き込まれる。

優秀賞

何もない一日だっていいじゃない空は青いし風は美味しい

佐賀県唐津市

古賀 由美子

考へ事してたのだからか黒焦げになりてしまひぬ目刺し三匹

岐阜県関市

伊佐地 博子

亡き夫の椅子そのままの食卓に二十才の孫の背広凜凜しや

岐阜県関市

長尾 ふき子

父の意に添えず退職せぬままの看とりにありきまた夏がくる

岐阜県岐阜市

大栗 紀美子

パズル解く祖母独り言人生で今が1番勉強してる

滋賀県長浜市

野口 成人

ありがとう恥ずかしいから言えないよ代わりに送る君の似顔絵

日本女子大学附属高等学校

増田 怜花

入選

アルミ缶潰すついでに孤独をも握り潰せば冴ゆる音のす

山口県光市 井ノ口 皓

キヤツチャーとファースト連れて子は行きぬ四校合同チームの試合に

岐阜県飛騨市 横山 美保子

鳥なのに空飛ぶことを忘れしか水にひたすら潜る鶉たちは

岐阜県岐阜市 川出 香世子

今日もまた一つ忘れて溜息はケーセラセラと大空へ舞ふ

岐阜県関市

上野 昌子

青りんごジープに擦りこりこりと白き歯見せて少年は食む

岐阜県飛騨市

神出 典子

ポジティブな顔は笑顔しかないからもう少し微笑んでください

滋賀県立膳所高等学校

池田 玲亜

鼓草の花の遊びは野に出でてたんぽこたんぽぼたたんぽんぽん

茨木県つくば市

松田 早苗

大雨の警報の日も休みなく餌運び来る親燕愛し

岐阜県中津川市

国枝 三津江

五分咲きの八重の桜を塩に漬けしあわせ数多あること祈る

埼玉県熊谷市

小熊 星子

和ダンスに着物名書かれし紙のあり見貫れた文字に母の包いす

岐阜県各務原市

堀田 桂子

小・中学生の部

市長賞

背伸びしてわざと選んだ厚底のサンダル履けば夏のはじまり

関市立下有知中学校

八木 美波

教育長賞

幸せは夕日がさすころ母さんがお腹の赤ちゃん報告する時

関市立富岡小学校

荒木 謙心

会長賞

図書館の雑誌二ページ広々とブルートレイン映る水田

安八町立登龍中学校

富田 湧也

優秀賞

車から黄昏時の雲見えるまるでいつかの絵の具のようだ

宮城県岩沼市立岩沼中学校

大石 怜和

沖縄の海にただよう太陽の光はどうしてこんなに特別

関市立富岡小学校

佐藤 大虎

大好きな本の最後が来てしまう涙にじんだ最後の話

宮城県岩沼市立岩沼中学校

石澤 美尋

雨の日たくさんの音聞こえるね全ての音が生きているんだ

関市立武芸川中学校

武藤 一樹

嘘を付く嫌われようとも嘘を付く関われるならそれで幸せ

群馬県太田市立太田中学校

柳 賢亮

スイカ割りバーンとたたきいい音だきれいにわれてまちきれないな

関市立富岡小学校

川崎 煌生

入選

たのしみは布団にもぐって寝る前に二人で話す秘密の話

関市立田原小学校

神谷 明日実

たのしみは寝ぼけまなこで昨日まで無かったメダカの卵見る時

関市立田原小学校

小瀬木 陸人

慰霊碑に祈りをささげ待ってます少し聞こえたあのひとの声

宮城県岩沼市立岩沼中学校

茂木 朔愉

つらいときに夜空の月を眺めると涙が出るから家に帰ろう

宮城県岩沼市立岩沼中学校 星 はる

黒鉛の強弱だけのカラスたちなぜだか瞳は光を放つ

宮城県岩沼市立岩沼中学校 三浦 快斗

バトミントンで希望を胸に勝ち取った県大会の大きな切符

宮城県岩沼市立岩沼中学校 堀内 楓

不思議だな本を開くと目の前は本の世界にタイムスリップ

関市立富岡小学校 松ヶ崎 彩羽

初夏の空入道雲がわきあがるわたしだけの夢のおふとん

関市立富岡小学校

西部 真希

負けないと気持ちを入れてそろばんをパチパチはじく競技開始

関市立武芸川中学校

矢田 稜仁

帰り道落ち込んでたら風吹いた私の背中押すようにして

安八町立登龍中学校

吉田 彩乃

魚をね釣って捌いて食べたいな波がザーザー広い砂浜

関市立下有知中学校

山藤 大地

夏休みセミがミンミンうるさいなあとね家族もすごくうるさい

関市立富岡小学校 小瀬木 雫月

梅雨の日によるこんでいるカエルたちなかよくピョンととびはねている

関市立富岡小学校 安田 陽色

コロナ中真夜中起きて見渡すとぬいぐるみの目こつち向いてる

防府市立右田小学校 徳久 漣

主催：元号しあわせの架け橋短歌大会2024実行委員会

後援：関市、関市教育委員会、(株)エコピア平成「道の駅平成」

第3回元号しあわせの架け橋短歌大会2024

受賞作品集

2024. 11. 10 発行

選者 桐山五一先生
後藤すみ子先生
近松壮一先生
大塚雅之先生
篠田理恵先生

編集発行：元号しあわせの架け橋短歌大会2024実行委員会

三輪 繁一 土屋 戒造 美濃羽哲彦 山村 誠示

増井 正英 土屋 芳郎 西部 英利 池田 清純

川島 京子

事務局：〒501-3501

関市富之保 2001-1 元号しあわせの架け橋の会短歌大会実行委員会

連絡先：TEL 0575-49-2855 Eメール npo-heisei@ccn.aitai.ne.jp

印刷所：(株)プリントパック



令和5年しあわせの架け橋5周年記念渡り式